

学校名 川口市立領家小学校
所在地 川口市領家3丁目14番1号
電話 048-222-4144

1 本校の概要

本校は昭和22年に創立され、児童数約278名の小規模校である。親子三代にわたって本校に学ぶ家庭もみられ、地域に密着した様々な活動が今もなお行われている伝統校である。学校図書館にも、長い歴史を重ねた本が多く残されている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

本校では、毎年、図書部が中心となり、学校図書館活動の見直し、読書活動の充実に向けて改善を図っている。

(2) 実践の概要

ア 本に触れる環境づくり

- ・朝の読書タイム（毎週月曜日）10分間の取組
- ・川口市立中央図書館より借りた「学校ぶんこ」の各クラスへの貸出
- ・地元企業からの寄贈本を学級文庫として貸出
- ・年2回の「お話バザール」での教師による読み聞かせ活動



- ・図書館だよりの発行
- ・低学年図書館、高学年図書館に分けての本の貸出と整理（図書委員会の活動）
- ・10月読書月間の実施
→おすすめの本の紹介
→しおりを作成し、多く本を読んだ児童に配付



- ・図書室掲示の工夫

- ・児童集会における図書委員会の発表
→児童によるお薦め本の紹介等
- ・保健部と協力し、ノーメディアデー（ノーテレビ・ノーゲーム）を実施
- ・図書ボランティア（学校応援団）による本の整理、修理、掲示物作成

イ 「川口おはなし会」（ボランティア団体）との連携

- ・学期に1～2回「川口おはなし会」の方による読み聞かせ活動の実施（低・中・高に分けて）
- ・年1回(11月)「川口おはなし会」の方によるスペシャルおはなし会（1～3年生対象で国語の時間に1単位時間での読み聞かせを行う）の実施

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 学級文庫の充実を目指し、リサイクル本などを増やした結果、進んで本を読む児童が増えてきた。
- イ おはなし会やお話バザールなどを計画的に実施することにより、上手に話が聞けるようになり、静かにお話の世界に浸れるようになった。
- ウ 調べ学習に関する本もすこしずつ充実させることで、国語、社会、理科、総合などで活用する機会が増えてきている。

(2) 課題

- ア 高学年になるにつれ、休み時間に委員会活動や様々な行事の準備等があり、本を借りに図書室に来る児童が少なく、全体的に読書量も少ない。
- イ 読書の記録カードによる自分の読書傾向の振り返りを行い、さらに幅広い視野で読書が楽しむことができるよう働きかけが必要である。

(3) おわりに

今後とも、子供たちの興味・関心のある本を増やし、学校図書館により多く足を運んでもらえるような環境づくりを目指したい。また、良い本と出合える機会や継続して本に親しむ活動を意図的につくっていききたい。